

研究の概要

20 24 年 10 月 4 日

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名：	生検技術や生検細胞の取り扱いが解析結果と妊娠に及ぼす影響
代表研究者 (所属・氏名)：	生殖技術部門 山本 桜子
研究の目的：	多くの施設でPGT-A/SRが実施されるようになったが、生検細胞の解析精度や生検後の胚が妊娠能へもたらす影響について様々な議論がされ未だ結論は出ていない。本研究では、生検時の条件や胚評価の違いが解析結果や移植胚の予後に及ぼす影響を検討した。
調査データ該当期間：	20 20 年 4 月 1 日 ~ 20 23 年 12 月 31 日
研究の方法 (使用する試料/情報等)：	2020年4月~2023年12月に同意を得てPGT-A/SRを行った胚871個と、そのうち単一胚移植を行った胚199個を対象とした。検討項目は検体輸送方法(保冷剤使用の冷凍発送/ドライアイス使用の常温発送)・生検者の経験年数(3年以上/未満)・採卵時の妻年齢(34歳まで/35-39歳/40歳以上)・生検細胞数(6cell以下/7-10cell/11cell以上)・TEグレード(A/B/C)・新鮮胚と融解胚・生検方法(レーザー法/フリック法併用)に分類し、判定不能胚率、モザイク胚率、妊娠反応陽性率を比較した。
個人情報の取り扱い：	研究に用いる患者個人情報の保護、プライバシーの尊重に努力し最大限の注意を払います。患者試料を分析する際には、連結可能匿名化を行います。また試料の分析から得られる情報についても、厳重な管理とセキュリティ体制の整備を徹底し、連結可能匿名化を行い符号のみで取扱いますので、個人情報は伝わりません。
本研究の資金源 (利益相反)：	利益相反状態はありません。
お問い合わせ先 ：代表電話 ：担当者(部門・氏名)	IVFなんばクリニック 06-6534-8824 生殖技術部門 山本 桜子
備考	